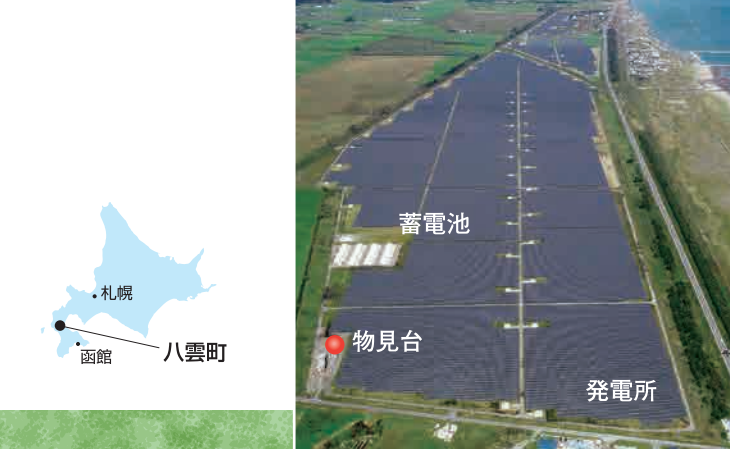




ユース 八雲ソーラーパーク

発電所概要

- **所在地**
北海道二海郡八雲町山崎
および花浦
- **敷地面積**
約132万m²(約132ha)
- **連系容量**
75,000kW(75.0MW)
- **蓄電設備(蓄電池容量)**
約2万7,800kWh(約27.8MWh)
- **年間予想発電量(初年度)**
約1億68万2,000kWh/年
(約10万682MWh/年)
一般家庭約2万7,967世帯分の
年間電力消費量に相当
※1世帯当たり3,600kWh/年で算出
- **運転開始日**
2020年10月16日(金)



発電所の特徴

1 造成をしない

泥水が海に流れ出ないようにとの環境への配慮から、通常の発電所建設工事で実施する造成工事を行わない、地成りでの太陽光パネル設置を行いました。



砕石を敷き詰めた外周の管理用道路を敷地より高くすることで、降雨の場合には管理用道路内で自然浸透するようにしました。また、工事期間中は月1回、周辺河川の水質調査を実施しました。

2 地盤が軟弱



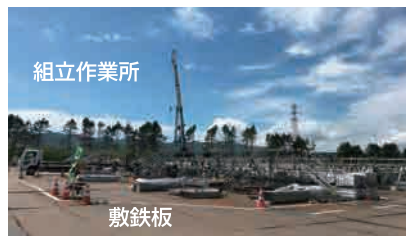
泥炭層で柔らかく水はけが悪い地盤のため、工事車両を通す道路には約1,500枚の鉄板を敷いて工事作業を行いました。



泥炭地の水はけを良くするために、一部にホタテの貝殻を敷きました。

3 組立作業所

通常、架台は設置場所で材料を組み立てますが、地盤の状況から鉄板を敷き詰めた組み立て用作業場を設け、完成品を設置場所へ運びました。



組み立てた架台は、鉄板で養生した管理道路上をトラックで運び、設置場所近くで待機している移動式クレーンでつり込み設置を行いました。



4 蓄電池システム

太陽光発電の難点となる、天候による発電量の急激な変動を抑え、電力を安定して供給することができます。これにより、発電量の変動幅は1分あたり1%以内に抑えることができます。発電量が多い晴れ間には蓄電池が充電を行い、雲に太陽が覆われて発電量が落ちた時に、貯めた電気を放電することで、発電量の変動を抑えます。蓄電池は53台の冷暖房完備のコンテナ内にそれぞれ格納しています。



5 自営線

この発電所で発電した電力は、道路脇に埋設したケーブル管路(自営線)を通り、山の上を通る約18.7万Vの電力会社の送電線へ接続する連系変電所に送っています。



自営線は約14km、途中38力所のマンホールがあります。日中の交通の妨げにならないように、送電ケーブルの港からの輸送と敷設は夜間に作業が行われました。